

第36回東日本本部 拡大委員会を開催！



【特別発言・女性部】
長野・西村美愛さん



(組合員の購読料は)
(組合費に含まれます)

港区新橋5-15-5
交通ビル
国労東日本本部
発行責任者 大沼 元
編集責任者 樋口孝重

No. 816 定価
20円

2019年
2月28日

職場の矛盾 仕事の不満
国労に結集し
みんなで相談解決へ

QRコードから
でも閲覧できます
<http://www.e-nru.com/>

国労東日本本部は、2月9日に新橋・交通ビルにおいて第36回拡大委員会を開催しました。討論では、東日本女性部・西村美愛さんの特別発言を含め、12名の真摯な発言により当面する闘争方針を確立しました。2019春闘勝利、最重要課題である組織の強化・拡大、JRで働くすべての労働者の労働条件の改善に向けて全力を挙げて取り組むことを確認しました。



【議長】大宮・佐藤委員
【副議長】秋田・宇佐美委員

委員からの発言

仙台・佐藤委員

●社員代表者選挙のあり方や社友会を通じた「労働組合不要論」に対する取り組みの早急な確立を。
●19春闘は、大衆闘争を通じて要求の前進と仲間成長を勝ち取る事が大切である。

●未加入者・他労組に対して、国労運動の姿を示し、組織拡大に打って出よう。
新潟・清野委員

●昨年1月の信越線事故の

委員からの発言

盛岡・田崎委員

●会社施策を労働組合に先行して個々に周知するやり方は、現場の混乱や不安を招いている。是正の申し入れを要請する。
●昨年の社員代表者選挙は3職場で代表に。今後も公平公正を求めていく。

●労組未加入者との交流など組織強化拡大を粘り強く取り組んでいく。組織内候補の必勝を参議院選へ繋げていく。
千葉・北嶋委員

●合理化施策について、改



●組織内候補の必勝に全力を揚げる。

●原発事故による放射線量下の業務を伴う常磐線復旧工事等を行わせない取り組みを要請する。

●昨年10月の参議院選挙で、労働組合の必要性や国労の主張を掲げ板で訴えてきた。会社提案に不安を持つ未加入者も一緒に要求作成や運動を意識していきたい。

●水戸・泉委員
●昨年は職場代表者選挙で、労働組合の必要性や国労の主張を掲げ板で訴えてきた。会社提案に不安を持つ未加入者も一緒に要求作成や運動を意識していきたい。

●安心して働ける環境整備をしながら、組織拡大に集中して日々奮闘する。

●社員代表者選挙に分会長が立候補して分会組合員の3倍近くの得票があった。

●昨年3月と5月に若手社員2名が加入してくれた。組織拡大の取り組みで6回の加入行動を行ってきた。

●社員代表者選挙に分会長が立候補して分会組合員の3倍近くの得票があった。

●八王子・星川委員
●昨年の3月と5月に若手社員2名が加入してくれた。組織拡大の取り組みで6回の加入行動を行ってきた。

●社員の是正を求めていく。組織的な運動が重要である。

●千葉地本で3名の拡大があった。大胆な声掛けや組織的な運動が重要である。

●求める必要がある。交渉強化で施策の撤回ができるのか、考え方を伺いたい。

委員長挨拶



労働組合への信頼を高め 加入拡大の取り組みを！

第87回定期全国大会で確認された「国労の課題と方向性」が、中央本部から提起された。「財政」「組織」「運動」に関する今後の課題と方向性を示したもので次世代につながる重要な取り組みになる。東日本本部は、厳しい組織の現状をしっかりと受け止め、各級機関で職場討議を進めていく。

2019春闘は、拡大中央委員会決定された運動方針に従い、しっかりとした要求を対置し、現場からは組合未加入者と一緒になった職場改善の取り組みを進める。また、地域では大衆行動などを精力的に取り組み、団結した労働者の力、運動の積み上げによって賃金交渉を後押ししながら、今委員会でも確立した要求の獲得に向けて奮闘する。職場の情勢は、組合未加入者のうち2万人が「社友会」なる親睦会に

加入しているといわれている。社員の7割近くが組合に所属しない会社になった。拡大対象者は3万数千人いる。また、4月採用の新社員対策を進めていく。労働組合への信頼を高め、引き続き職場から加入拡大の取り組みを強めていく。
JR東日本は、グループ経営ビジョン「変革2027」を策定し、7月に公表した。急激な働き方の変化が労働者、社員に求められてくる。広域の異動に対する不安の声、各種施策に対する問題点も多く挙げられてきている。労働組合として引き続き各種施策の検証と問題解消に向けた取り組みを強め、働きやすい職場づくりを追求していく。
今年、統一自治体選挙と夏の参議院選挙が行われる。各地方において国労議員団と連携し、必勝に向けた取り組みを要請する。また、国政においては、安倍政権の進める悪政を立憲野党と市民との共同で転換させる機会にしなければならぬ。
各委員の真摯な討論により、2019春闘をはじめとする当面する闘争方針が確立されるよう心から要請し、執行委員会を代表しての挨拶とする。

【特別発言・女性部】
長野・西村美愛さん

今回の大量脱退ではじめて組合について自分で学んで考えました。

国労に決めた理由は、全国単一組織で組織としての母体と活動がしっかりとっていること。尊敬できる先輩たちが沢山いることです。

退職を迎える先輩方もできることはまだ沢山あります。退職する前にひとりごとを加入させましょう！

経験豊富で信念を持った先輩方と、これから担う青年・女性が重なり合っている「今」なら沢山のことが絶対できるはずです。

仲間同士の団結を大事にし、運動を続けてきた伝統と歴史がある国労をこの先も繋げていくため、自分に出来ることを全力で行い、先輩方と一緒に頑張っていく予定です。

高崎・原田委員

●「変革2027」等の安全軽視・利潤優先の施策に対する安全問題は最重要課題。労働組合として合理化反対・委託化反対の大衆行動を。

●新幹線総括本部の発足に関する問題で、簡易苦情処理の窓口等、取扱い

を明確にするべきである。●上越線のCTC化で影響を受ける高崎操車場へ教育や説明がないことへの取り組みを要請する。

長野・長田委員

●職場では要員不足で安全・安定輸送を侵す労働強化が深刻である。

●未加入者や他労組を巻き込んで要求作成に繋がっている分会がある。原点である分会運動の活性化を呼びかけている。

●特殊健康診断受診者のアスペスト健康管理手帳の取得や、人間ドックでアスペスト検査を入れるよう要求してほしい。

仙台・武田委員

●19春闘で、地本は「一人一要求」の集約を行っている。ストライキを背景とした闘いの決断を。

●合理化施策に断固反対の立場で交渉準備を進めている。東日本本部として「変革2027」をどう考えているのか。また「変革2027」についての討議資料を求める。

●社員代表者選挙の不正行為や投票による不利益



を防ぐため会社の指導を取り付けるよう要請する。

新橋・高瀬委員

●全ての系統で合理化が進んでいる。「変革2027」の本質を知らせる学習会やパンフの作成を求める。

●19春闘では、客貨一体の全国統一闘争・統一要求で、ストを背景とした闘いの組織化を求める。

神奈川・佐藤委員

●昨年12月に新鶴見機関区で加入した仲間は「世話役活動」と「国労の姿」

執行部答弁

●会社施策を労働組合より先に社員へ周知している問題では、その都度会社側には正を求めてきた。周知のあり方については丁寧な説明を求めていく。

●交渉で施策撤回は厳しいが、ルールの確認や新たなルールの確立、施策実施後の検証と問題提起は重要である。引き続き交渉強化をしていきたい。

●どう組合側から情報を伝えていくかは今後の課題。この間呼びかけティッシュの活用を提起してきた。チラシ等はHPで適宜更新するので活用を。

●配属された未加入者を加入に結びつけるにはひ

を通じ、信頼関係を築きあげた上の加入だった。隅田川機関区・黒磯機関区も連続拡大があった。東京貨物協議会と連携し、組織拡大を強めていく。

エルダー社員制度

●エルダー社員制度における出向先労働条件の改善の取り組みを要請する。



書記長集約

9地本の団結により運動の前進を図ろう

①「安全・安定」輸送確立、安心して働き続けられる職場づくりに向けて

7月にグループ経営ビジョン「変革2027」策定、その実現・実行に向けた動きが早まっている。組合員・社員の不安の払拭、情報開示に向け、当該地方本部と連携し取り組みを強化する。

東日本大震災から8年、19年度末までの運転再開を目指すJR常磐線復旧工事の放射線領域で働く組合員・社員の不安の払拭、情報開示に向け、当該地本と連携し取り組みを強化する。

安心して働き続けられる職場こそが「安全・安定」輸送を支えるという立場で、仕事・安全総点検運動を強め、施策の検証から団体交渉の強化を図っていく。

②19春闘について 19春闘方針については、第198回拡大中央委員会において、基準内賃金の4パーセント相当額12,000円を基本とするベア統一要求からなる「統一重点要求9項目」が確立された。

春闘再構築に向けた各職場からの組合未加入者をはじめとした創意工夫した取



り組みは重要である。「仕事・安全総点検」や「一職場一行動」等、各地方・職場からの取り組みを通じ本社交渉を押し上げ、労働条件改善、組織拡大に全力を挙げたい。尚、戦術については戦術委員会等で議論する。

③組織の強化・拡大について 各支社による温度差はありながらも、現場管理者による社友会への懲罰や会社幹部との意見交換、組合要求を先取りした環境改善、施策提案と同時に社員説明、など労働組合に頼らなくとも済む、社友会による労働者の困り込みも作られつつある。

昨年の社員代表者選挙では、多くの職場で組合員以上の票を獲得した。このことは国労組合員への期待の表れであり、この間の運動・取り組みに対

する評価といえる。もう一人の仲間を国労に迎え入れるために奮闘する。

④平和と民主主義を守る、政治闘争の強化について この間の安倍政権の暴走は「戦争する国・軍事大国化」へと突き進んできた。今年

は政治決戦の年である。統一地方選挙における国労議員団の当選はもとより、参議院選挙は立憲野党の躍進から安倍政権を一日も早く退陣に追い込まなければならぬ。東日本本部もそうした立場で、全力を上げる。私たちが置かれた状況、課題は山積しているが、9地本の団結により運動の前進を図っていく事をお願いし、第36回拡大委員会の集約とする。

これからの医療の進歩を見据え、「生きるためのがん保険」を新しくします。

アフラックはがん保険契約件数 No.1

NEW/ 生きるためのがん保険 1 Days

NEW/ あなたの保障を最新化 生きるためのがん保険 1 Days プラス

すでにアフラックのがん保険に契約の資格に

アフラック 東京第二法人営業部 東京都新宿区西新宿2-1-1 新三井ビル19F TEL.03-3344-1429 FAX.03-3344-2658

アベニール株式会社 〒105-0004 港区新橋5-15-5 交通ビル3階 TEL.03-3437-6810 FAX.03-3437-6822

アフラック「生きる」を創る。 Aflac